

132 渡嘉敷ペーケー(チ)

(屋根の葺き替え)

昔は王様の家でも萱で葺きよつたでしょう。で、家の葺き替えの時、王様の家だから、葺くの悪かつたら殺されるからといって、全部遠慮してね、誰でもやらなかったそうですよ。で、このペーケーはですね、「じゃ、あんたたちがやらないなら僕がやるから」つて、すぐに上に上がつてね、上から、本当は下から葺いてくるでしょう、萱は。家造るには。下から葺いてゆく。これは上から葺こうとしたんだ。王様が、「あんたは屋根からね、萱葺いたらこの家はくしゃくしゃになって漏るんじゃないかい」つて言うたら、「王様がよくわかるからね、あんた葺きなさい」つて。